

環境経営活動レポート

活動期間：2022年10月～2023年9月



ちばSDGsパートナー 1060号

作成：2023年12月20日



<ごあいさつ>

当社は1975年3月、船橋市において漁業者転業会社として設立され、人と環境の調和を第一に清潔で美しい街づくりを目指し、企業活動を行ってまいりました。

美しい環境や必要な資源を引き継ぐことは、今を生きる私たちの大切な使命です。私たちは、時代の要望にお応えするために50年近い豊富な経験を生かし、環境の美化と資源の再利用にさらに積極的に取り組んでまいります。

《環境経営方針》

<環境理念>

地球温暖化防止に配慮し地球環境に対する負荷の低減と、人にやさしい社会の創造を図るため、当社に関する環境関連法規制等を順守すると共に、廃棄物処理、汚水処理等を通じて循環型社会の実現に向け、自主的・積極的に、環境への取組を推進します。

<行動指針>

1. 電力使用と収集運搬車両等の燃料削減に努め、二酸化炭素排出量の低減を推進します。
 2. 水の適正使用により、節水に努めます。
 3. 選別・分別によりリサイクルを図り、自社廃棄物の削減を図ります。
 4. 集荷した廃棄物の分別を徹底し、再資源化の向上に努めます。
 5. 営業活動を通じ、適正な廃棄物処理への提案を推進します。
 6. 自社使用の化学薬品の適正管理に努めます。
 7. グリーン購入を推進します。
 8. 環境に配慮した建設工事及び倉庫管理を推進します。
 9. 社屋敷地及び周辺道路の清掃活動を行い、地域等の環境美化に努めます。
 10. 上記の項目について定期的に見直し、環境経営システムの継続的改善に努めます。
- 当社の環境方針は、全ての従業員に周知するとともに、当社ホームページで公表します。

制定日：2012年12月 1日

改定日：2023年10月27日



代表取締役 高橋 政行

1. 組織の概要（事業規模）

(1) 事業の概要

法人設立年月日	1975年3月18日	
資本金	23百万円	
事業所名	船橋興産株式会社	
代表者名	代表取締役 高橋 政行	
所在地		
本社	〒273-0014 千葉県船橋市高瀬町 31-2	
本社別棟	〒273-0014 千葉県船橋市高瀬町 31-9	
習志野営業所	〒275-0022 千葉県習志野市香澄 3-15-8	
北部事業所	〒270-1611 千葉県印西市岩戸 3634-5	
高瀬中間処理場	〒273-0014 千葉県船橋市高瀬町 39-6	
浜町倉庫	〒273-0012 千葉県船橋市浜町 3-4-4	
高瀬町倉庫	〒273-0014 千葉県船橋市高瀬町 41-1	
MY 船橋ビル	〒273-0011 千葉県船橋市湊町 1-3-1	
幕張テクノガーデン	〒261-0023 千葉県千葉市美浜区中瀬 1-3 CD棟 5階	
SC 事業所		
（ららぽーと TOKYOBAY）	〒273-0012 千葉県船橋市浜町 2-1-1 ららぽーと内	
（イオン千代緑が丘）	〒276-0049 千葉県八千代市緑が丘 2-1-3 イオン千代緑が丘内	
（津田沼 Viit）	〒274-0825 千葉県船橋市前原西 2-18 津田沼 Viit 内	
（三菱電機ライフサービス㈱内作業所）	〒273-0045 千葉県船橋市山手 1-1-1 三菱電機ライフサービス㈱内	
（エポカ高根台）	〒274-0065 千葉県船橋市高根台 1-2-1 エポカ高根台内	
従業員	116人（今回登録対象人数 111名）※	
2022年度売上高	2,278,000千円	
敷地面積	16,207 m ²	
環境管理責任者氏名	顧問 海宝 秀雄	
担当者連絡先	担当者	エコアクション21事務局 大谷 良雄
	(電話)	047-433-5581
	(FAX)	047-433-5584
事業活動の内容	一般廃棄物収集運搬業 産業廃棄物収集運搬業 特別管理産業廃棄物収集運搬業 有価物の回収及び再生に関する事業 産業廃棄物中間処理業 浄化槽・除害施設の維持管理 土木工事（特定・一般） ビル管理・貸倉庫業務 毒物劇物販売	

※ 総人員数は116人であるが、正社員95人、パートアルバイトは21人。換算人員で111人。

(2) EA21 登録対象組織、対象活動

○対象事業所： 船橋興産株式会社 本社
〒273-0014 千葉県船橋市高瀬町 31-2

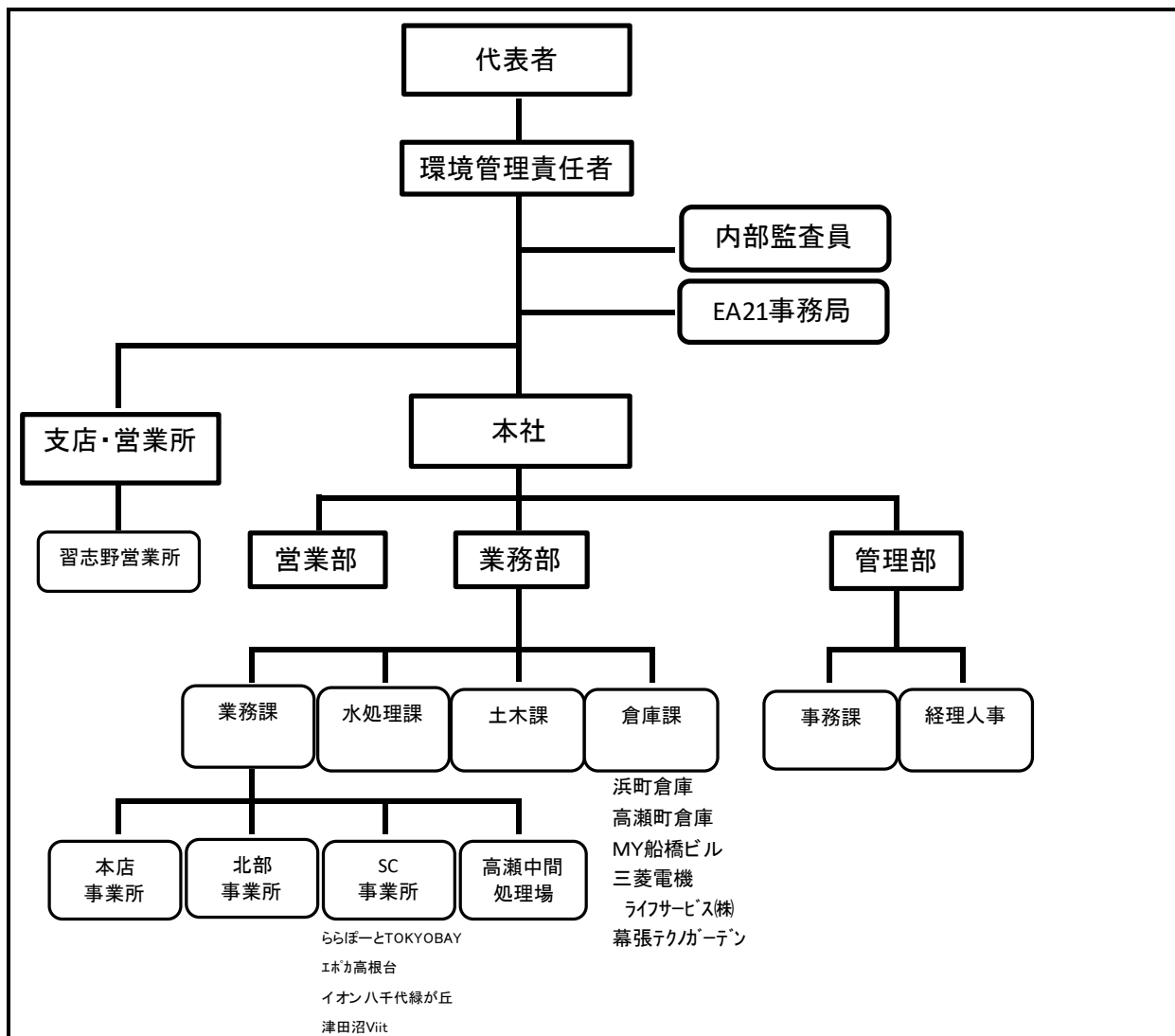
○関連事業所：

本社別棟	〒273-0014 千葉県船橋市高瀬町 31-9 (本社を含む)
習志野営業所	〒275-0022 千葉県習志野市香澄 3-15-8
北部事業所	〒270-1611 千葉県印西市岩戸 3634-5
高瀬中間処理場	〒273-0014 千葉県船橋市高瀬町 39-6
浜町倉庫	〒273-0012 千葉県船橋市浜町 3-4-4
高瀬町倉庫	〒273-0014 千葉県船橋市高瀬町 41-1
MY 船橋ビル	〒273-0011 千葉県船橋市湊町 1-3-1
幕張テクノガーデン	〒261-0023 千葉県千葉市美浜区中瀬 1-3 CD棟 5階
SC 事業所 (ららぽーと TOKYOBAY)	〒273-0012 千葉県船橋市浜町 2-1-1 ららぽーと内
(イオン八千代緑が丘)	〒276-0049 千葉県八千代市緑が丘 2-1-3 イオン内
(津田沼 Viit)	〒274-0825 千葉県船橋市前原西 2-18 津田沼 Viit 内
(三菱電機ライフサービス(株) 内作業所)	〒273-0045 千葉県船橋市山手 1-1-1 三菱電機ライフサービス(株)内
(エポカ高根台)	〒274-0065 千葉県船橋市高根台 1-2-1 エポカ高根台内

○事業活動：

一般廃棄物収集運搬業、産業廃棄物収集運搬業、特別管理産業廃棄物収集運搬業
有価物の回収及び再生に関する事業、産業廃棄物中間処理業
浄化槽・除害施設の維持管理、土木工事 (特定・一般)、ビル管理、貸倉庫業務
毒物劇物販売

(3) 環境管理組織図



[責任と権限]

職名	責任と権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境方針を決定する ● 環境管理責任者、環境監査責任者を任命する ● EA21 活動の全体の評価と見直しの実施 ● 経営資源(人、物、金)を用意する ● 経営における課題とチャンスの整理と明確化
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ● EA21 事務局を指揮して、EA21 の運用に係る事項を統括する ● 環境活動計画の確認と承認 ● EA21 運用結果を代表者に報告する
EA21 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境管理責任者の指揮に従い、EA21 の運用に係る事務処理 ● 環境活動レポートの作成
各部門	<ul style="list-style-type: none"> ● 自部門に関する EA21 活動の推進と報告

(4) ちばSDGsパートナーの登録

ちばSDGsパートナーの登録を受けました。SDGsは、世界全体の経済、社会及び環境の三側面を、不可分のものとして調和させ、持続可能な世界を実現するための総合的な取り組みです。

(5) 事業許可・届出

2023年10月31日現在

許可事業	許可行政	許可番号(登録又は期間)	許可年月日	有効期限 西暦表記	
産業廃棄物収集運搬業	千葉県	許可 第 1200008399 号	H28.12.15	R5.11.20	2023/11/20
	東京都	許可 第 13-00-008399 号	R5.10.11	R12.10.10	2030/10/10
	茨城県	許可 第 0801008399 号	H30.8.23	R7.10.27	2025/10/27
	埼玉県	許可 第 1106008399 号	H30.7.17	R7.6.22	2025/6/22
	神奈川	許可 第 01400008399 号	H30.8.10	R7.6.30	2025/6/30
特別管理産業廃棄物収集運搬業	千葉県	許可 第 1250008399 号	R1.9.10	R8.8.17	2026/8/17
一般貨物自動車運送業	関東運輸局	許可 関自振第360号	H13.6.7	なし	-
一般廃棄物収集運搬業	船橋市	許可 第 2 号	R4.4.1	R6.3.31	2024/3/31
	習志野市	許可 第 01-022 号	R4.3.14	R6.3.31	2024/3/31
	八千代市	許可 第 13 号	R4.4.1	R6.3.31	2024/3/31
	印西市	許可 第 8 号	R4.3.10	R6.3.31	2024/3/31
	白井市	許可 第 13 号	R4.4.1	R6.3.31	2024/3/31
	産業廃棄物処分業	船橋市	許可 第 10420008399 号	R2.1.22	R7.1.11
古物業	千葉県公安委員会	許可 第 441040001666 号	H15.10.3	なし	-
浄化槽清掃業(浄化槽汚泥)	船橋市	許可 第 4 号	R4.4.1	R6.3.31	2024/3/31
一般廃棄物収集運搬業(浄化槽汚泥)	船橋市	許可 第 4004 号	R4.4.1	R6.3.31	2024/3/31
浄化槽清掃業(浄化槽汚泥)	習志野市	許可 第 02-09 号	R4.3.14	R6.3.31	2024/3/31
一般廃棄物収集運搬業(浄化槽汚泥)	習志野市	許可 第 01-34 号	R4.3.14	R6.3.31	2024/3/31
浄化槽保守点検業	千葉県葛南県民センター	登録 (登11)葛地振第 15 号	R4.3.16	R9.3.12	2027/3/12
	千葉市	登録 (登6)第 389 号	R5.8.3	R10.8.2	2028/8/2
	船橋市	登録 (登5)第 83 号	R4.4.12	R9.3.12	2027/3/12
	柏市	登録 (登3)第 58 号	R4.3.10	R9.3.12	2027/3/12
建築物 排水管清掃業	船橋市	登録 船橋市 5 排 第1号	R5.8.30	R11.9.11	2029/9/11
建物飲料水貯水槽清掃業	船橋市	登録 船橋市 28 貯 1 号	R4.4.15	R10.4.19	2028/4/19
特定建設業(土)(管)(造)	千葉県	許可 (特-1)第 23354 号	R1.5.13	R6.5.12	2024/5/12
一般建設業(と)(しゅ)(造)	千葉県	許可 (般-1)第 23354 号	R1.5.13	R6.5.12	2024/5/12
一般建設業(解体)	千葉県	許可 (般-1)第 23354 号	R1.7.9	R6.7.8	2024/7/8
指定給水装置工事業	千葉県	指定 第 891 号	H16.9.2	なし	-
排水設備指定工事店	船橋市	指定 第 188 号	R5.3.24	R10.3.31	2028/3/31
	習志野市	指定 第 117 号	R1.10.15	R6.10.14	2024/10/14
毒物劇物一般販売業	船橋市	登録 船保 第795号	R3.6.8	R9.7.12	2027/7/12

※ 許可年・有効年は、許可証記載の和暦と西暦表示。
優良産廃処理業者の認定を受けています。

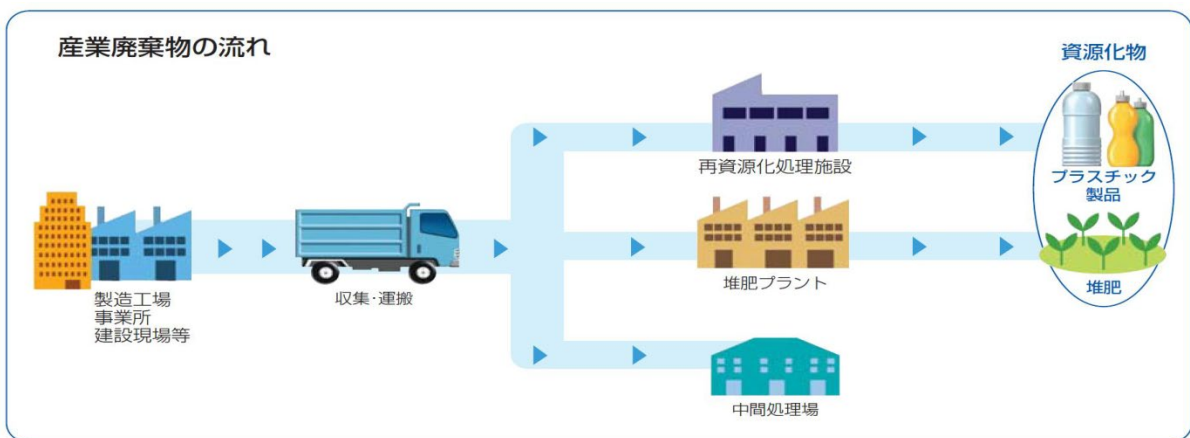
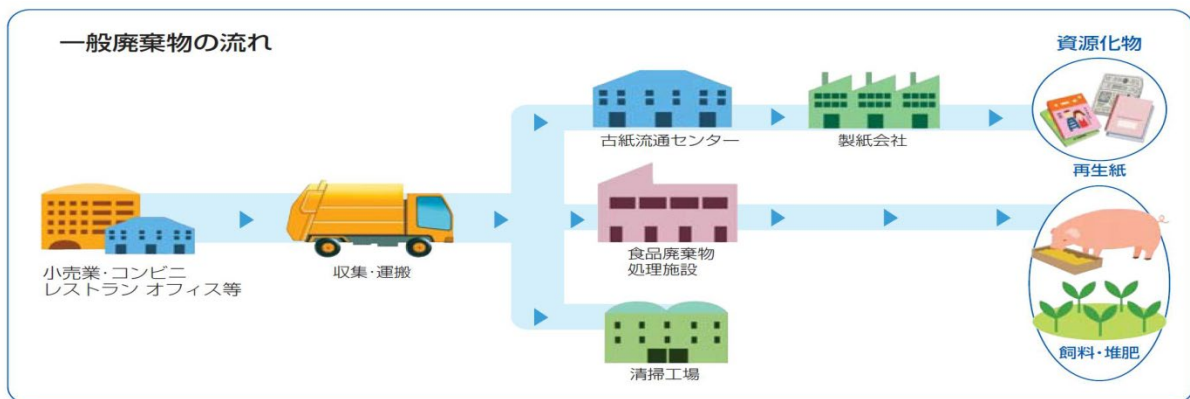
(6) 産業廃棄物収集運搬業の許可の詳細

許可行政	産業廃棄物													特別管理 産業廃棄物			
	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	金属くず	ガラス・コンクリート 陶磁器くず	がれき類	廃油	廃酸	廃アルカリ	感染性産業廃棄物
千葉県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
東京都	○				○		○				○	○	○				
茨城県	○				○				○		○	○	○				
埼玉県	○																
神奈川	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
千葉県														○	○	○	○

(7) 運搬車両一覧 (全 70)

	車両タイプ	台数
1	4トン塵芥車	15
2	3トン塵芥車	10
3	2トン塵芥車	4
4	8トン脱着型コンテナ車	2
5	4トン脱着型コンテナ車	6
6	3トン脱着型コンテナ車	2
7	3トンユニック車	1
8	10トンダンプ車	2
9	2トンダンプ車	2
10	8トンウイング車	1
11	4トンウイング車	2
12	2トンウイング車	1
13	4トン平ボディ	1
14	2トン平ボディ	4
15	フォークリフト (電気式)	1
16	10トンバキューム車	1
17	4トンバキューム・ローリー車	6
18	2トンバキューム車	1
19	10トンダンパー	1
20	6トンダンパー	1
21	4トン洗浄車	3
22	2トン洗浄車	1
23	BOX車	2

(8) 廃棄物の収集運搬のフロー（以下の収集・運搬の箇所が当社事業）



(9) 産業廃棄物の中間処分

○ 廃プラスチック類（発泡スチロール）処理工程

発泡スチロール収集 ➡ 破碎 ➡ 異物分離 ➡ 熔融 ➡ ブロック成形

- 破碎したものに熱を加え、ブロック状に成形し、プラスチック製品の原料として売却し、成形不良品等はサーマルリサイクル



○ 産業廃棄物処分の許可の内容

設置場所	千葉県船橋市高瀬町 39 番 6、39 番 12
許可	船橋市
許可番号	第 10420008399 号
許可年月日	2020 年 1 月 22 日
許可有効年月日	2025 年 1 月 11 日
事業の区分	破碎及び溶融による中間処理
産業廃棄物の種類	< 破碎による中間処理に係るもの > 廃プラスチック類（廃発泡スチロールに限り、特別管理産業廃棄物であるものを除く。）

処理施設詳細

施設の種類の	数量	処理能力（保管能力）
破碎・溶融	2	廃プラスチック類 0.4 t / 日（8 時間） 廃プラスチック類 1.6 t / 日（8 時間）
保管施設	4	廃プラスチック類 9.67 m ³ 廃プラスチック類 20.00 m ³ 廃プラスチック類 40.00 m ³ 廃プラスチック類 4.25 m ³
製品保管施設	2	10.68 m ³ 、 3.90 m ³

(10) 廃棄物収集運搬量等及び産業廃棄物処分量実績 単位 トン

(10 月～9 月)	2020 年度	2021 年度	2022 年度
一般廃棄物収集運搬量	12,441	12,757	12,067
産業廃棄物収集運搬量	10,385	12,333	12,115
し尿汚泥収集運搬（浄化槽汚泥）	13,897	13,970	13,276
収集運搬量合計	36,723	39,060	37,458
産業廃棄物処分量（中間処理）	272	243	222
うち 再資源化	212	206	177

※ 一般廃棄物収集運搬量は、不燃ごみ含む

(11) 当社の EA21 活動評価の方法について

当社の業種は多種類に亘るため、業種及びサイトの特徴に応じて、EA21 はそれぞれ下記の区分で独自の活動を展開している。

部門	対象サイト	活動評価方式	コメント
一般事業所	本社&下記を除く全部門	目標値	廃棄物&建設ガイドラインを統一して、全社統合環境負荷の目標値設定、管理
中間処理場	高瀬中間処理場	目標値	廃棄物ガイドラインに準拠。電気・水の使用量の目標値を設定、管理
SC(ショッピングセンター)	SC ごとに独立して活動	チェックシート	電気、水等は顧客支給で定量化困難なため、活動結果をチェックシートで評価
建設現場	工事現場毎	目標値、チェックシート	定量化可能なものは目標値、不可はチェック評価方式
貸倉庫	浜町・高瀬町倉庫・MY 船橋ビル・幕張テクノガーデン CD5F	目標値	環境負荷の調査・管理、環境負荷軽減の啓蒙活動
全社CO ₂ ガス排出量		目標値管理	定量化可能サイトの合計

2. 部門別 EA21 活動について

2.1 事業所（本社在住部門、廃棄物中間処理場・浄化槽清掃業務を含む）

（1）事業所の環境経営目標（年度は10月～9月）

※ 電力換算調整後排出係数 2022年7月14日 公表

東京電力 0.433 KDDI 0.417 kg-CO₂/kWh

都市ガス 2.16 kg-CO₂/m³

2023年11月(MY)・12月(高瀬町・本社)より KDDIの電気プランをTypeE

2022年 4月より MTGはグリーンベーシックプラン Co₂換算値0

取組区分	単位	基準年	環境目標（年度は10月～9月）			
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	
電気使用量削減	係数	195,392	▼1%	▼2%	▼3%	
			193,438	191,484	189,530	
内訳 本社	kWh/年	0.417	81,870	81,051	80,233	79,414
高瀬中間処理場	0.417	95,701	94,744	93,787	92,830	
別棟（給油所、北部含む）	0.433	17,821	17,643	17,465	17,286	
軽油使用量 （燃費と運搬量との割合測定）	L/年	2.580	269,403	効率使用を監視する		
				270,000	270,000	270,000
燃費	km/L	参考値	3.8	3.8	3.8	3.8
ガソリン使用量（燃費を測定）	L/年	2.320	11,625	効率使用を監視する		
			3ヶ年平均	11,500	11,500	11,500
燃費 2019年度計測	km/L	参考値	10.07	10.0	10.0	10.0
二酸化炭素排出量の削減 本社電気（2023.12～セロ）	kg-CO ₂ /年		803,793	排出量の監視		
				804,226	775,639	769,475
建設現場軽油使用量削減	L/年	2.580	20,939	効率使用を監視する		
				21,000	21,000	21,000
燃費 2019年度計測	km/L	参考値	5.23	5.3	5.3	5.3
会社全体の二酸化炭素排出量の削減 （土木建設現場含）	kg-CO ₂ /年		857,816	排出量の監視		
				858,406	829,819	823,655
水使用量の削減	m ³ /年		2,124	適正使用の監視		
				2,080	2,080	2,080
内訳 本社			483	480	480	480
高瀬中間処理場			1,641	1,600	1,600	1,600
当社産業廃棄物の削減・適正処理 （廃プラスチック類）	kg/年		1,020	再資源化		
				1,000	1,000	1,000
建設廃棄物のリサイクル推進 （建設廃棄物 アスコンがら）	%		100	100%	100%	100%
産業廃棄物再資源化 （発砲スチロール）	t/年		206	安定した稼働		
				210	210	210
産廃の適正処理の普及活動	件/年		120	現状維持	現状維持	現状維持
				120	120	120
グリーン購入 事務用品	%		72%	70%を基準とし活動		
				70%	70%	70%
再生品アスファルト	%		100	100%	100%	100%
再生品砕石			100	100%	100%	100%

※ 北部事業所は、井戸水使用のためメーターがなく使用量の把握ができない。

倉庫の取組	単位	基準年 2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
倉庫の電力削減		1,615,496	基準年との対比 節電・節ガスの啓蒙 Co ₂ 2023.10以降試算		
内訳 浜町倉庫	kWh/年	679,479			
高瀬町倉庫 (2023.12～ゼロ)	0.417	622,107			
MY船橋ビル (2023.11～ゼロ)	0.417	313,910			
MTG (幕張テクノガーデン)	0.433				
都市ガス削減 (MY船橋ビル)	m ³ /年	2,160	28,917		
倉庫二酸化炭素排出量の把握 浜町倉庫・高瀬町倉庫 (2023.11まで) MY船橋ガスで試算	kg-CO ₂ /年	746,994	746,994	410,820	356,675
倉庫水使用量の削減		4,119	基準年との対比 節水の啓蒙		
内訳 浜町倉庫	m ³ /年	783			
高瀬町倉庫		501			
MY船橋ビル		2,835			
			事務部隊が多くなる使用量増傾向		

【環境目標設定の考え方】

- ① 2021年度実績値を基準値として、これらを元に中期目標値を設定した。
- ② 電力は、冬季は暖房、夏季は冷房等の使用が多い。夏場のエアコン使用量削減が課題である。本社電気使用量には、本社別棟の電気使用量も含めて管理している。
本社、高瀬町倉庫、MY船橋ビル、幕張テクノガーデンについては2022年4月～順次プラン変更し二酸化炭素排出量係数 0 となるが、使用量の監視はこれまで通り継続していく。
- ③ 軽油使用量は、エコドライブ、安全運転で燃費向上を図る。毎月の注意事項とエコドライブの心得で、低減を図る。なお、現在、あおいくま運動を展開中である。

< あおいくま 運動 >	———— おだやかな気持ちゆとりの運転を実践 ————
「青い熊、あおい熊、あおいくま」とつぶやく	
あ 焦らない	く くよくよしない
お 怒らない	ま 負けない
い イライラしない	
- ④ 水の使用の無駄をなくす意識付けを中心に活動する。
- ⑤ 中間処理場の産業廃棄物排出量（廃プラスチック類）を管理し、安定を図る。
- ⑥ 当社、中間処理場の稼働を安定させる事。処理量の拡大によるリサイクルの推進を図る。
- ⑦ 前項の目標に合わせて、主要顧客へパンフレットによる産廃物分別提案、分別ボックスの提供等により、粗大ごみの処理が一廃から産廃に移行したことの周知を図っている。
- ⑧ グリーン購入は、事務用品のリサイクル品購入率を維持していく。全購入料金とリサイクル品購入金額の割合から購入の実績値を管理していく。
- ⑨ 倉庫設備に省エネルギー製品を導入、維持管理によりエネルギー使用量の把握・削減を図る。

(2) 主要な今年度の環境経営計画及び次年度の計画

環境経営目標を達成するため、以下に示す環境活動計画に基づき環境活動を実践する

環境目標	今年度の環境経営計画及び次年度の内容	主担当
電力使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・屋上緑化（苔シート）の確実な保守点検 ・休憩室及び作業時間中を除き、昼休みは消灯する ・電力削減手順書の教育 ・夏は光を遮断し冷房効率を上げる（ブラインド・カーテン） ・無人電力は、使用しない。（テレビ、エアコン、パソコン等） ・LED電球への取替え ・社内・社周辺の清掃活動 	全体
燃料（軽油、ガソリン）使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの実践を行う ① 無用なアイドリング、空ふかしをやめる ② 経済速度で走る。無駄な荷物は積まない ③ 急発進、急加速、急ブレーキをやめ、適切な車間距離をとる ④ あおいくま運動の推進 ⑤ 適切な点検・車輛整備の実施 	全体
水使用量（総排水量）の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・蛇口をこまめに開閉する ・蛇口の水量は、適正に保つ ・洗車の際の節水、洗車時間の短縮 	全体
当社排出廃棄物の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・廃プラスチック類は、分別徹底により産廃のリサイクル量を拡大する。 	全体
発泡スチロール中間処理施設の維持、拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・既存顧客への定期訪問 ・新規顧客の獲得 ・処理施設の点検、メンテナンス 	営業業務
産廃の適正処理の普及活動	<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットによる適正処理推進 ・分別ボックスの提案 ・リサイクルの提案 ・信頼できる廃棄物処理の提案 ・電子マニフェストの推進 	営業部
倉庫電気使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ・設備維持管理 ・節電、節ガス、節水の啓蒙活動 ・LED電球推進 	管理部
グリーン購入	<ul style="list-style-type: none"> ・エコマーク商品の購入を積極的に進める ・車両修理時に再生部品を積極的に使う ・事務用品に関して購入割合を監視 	管理部

(3) 事業所の環境活動の取組結果 (活動期間：2022年10月～2023年9月)

項目	単位	部署	目標値	実績値	達成率	コメント
電力 使用量削減	kWh	本社	81,052	74,142	109%	各部署共に前年実績値を下回る使用量となった。 高瀬中処理場については、処理量の減少が影響していると思われる。 夏の猛暑が今後どのような推移でどのような影響がでてくるか不安要素。
		高瀬中間処理場	94,744	70,514	134%	
		別棟 給油所・北包含	17,643	16,290	108%	
電力合計			193,439	160,946	120%	
軽油使用量削減	L	土木以外	270,000	260,487	104%	目標値クリアとなる。
燃費(参考値)	km/l		3.80	3.73	98%	ムダな燃料の使用は抑えられている。
軽油計			270,000	260,487	104%	
ガソリン使用量削減	L	全社	11,500	10,636	108%	
燃費(参考値)	km/l		10.00	10.06	101%	
ガソリン計			11,500	10,636	108%	
CO ₂ 排出量 ①	kg		804,226	764,107	105%	目標値クリアとなった。 継続していけることが重要と考える。
軽油使用量削減②	L	土木	21,000	18,505	113%	使用量は目標値をクリアしたが燃費が悪く検証が必要。
燃費(参考値)	km/l		5.00	3.54	71%	
倉庫電気	kWh	浜町倉庫	679,479	693,211	98%	電気使用量 増加。
	kWh	高瀬町倉庫	622,107	655,008	95%	
	kWh	MY船橋ビル	313,910	291,865	108%	
会社全体 CO ₂ 排出量 (電力・軽油・ガソリン)	kg	土木部門含む 倉庫除く ①+②	858,406	811,850	106%	土木の燃費が非常に悪くなっている。工事案件が少ないこと、夜間工事が多かったことが影響あるのか検証が必要。
水使用量削減	m ³	本社/別棟	480	518	93%	洗車場のバルブ水漏れ修繕・トイレパッキン修繕したが改善見られず現在にいたっている。
		高瀬中間処理場	1,600	2,205	73%	
水道計			2,080	2,723	76%	
当社排出廃棄物 (廃プラスチック類) の削減	kg	高瀬中間処理場	1,000	1,010	99%	目標値とほぼ同等となる。
産業廃棄物処理量 (発砲スチロール)の 拡大	トン	営業	210	176	84%	発砲の受け入れ量が減少している。電気使用量は減少となるが、課題である。
		高瀬中間処理場				
廃棄物の適正処理普及	件	営業	120	117	98%	ドライバーの人手不足により営業部署より6ヶ月出向あり。
グリーン購入 (事務用品)	%	全体	70%	72%	103%	目標値クリア 今後も継続する。

項目	単位	部署	基準値	実績値	率	コメント
倉庫内の電気	kWh	浜町倉庫	679,479	693,211	98%	浜町・高瀬町倉庫内に冷凍・冷蔵設備があり猛暑の影響がでていると考えられる。 MY船橋ビル2023年10月より 高瀬町倉庫2023年11月分よりプラン変更二酸化炭素排出係数0プランとなる。 MTG 基準値不明 2023年4月より 二酸化炭素排出係数0プランとなる。実績は4月まで CO2実績には含む
		高瀬町倉庫	622,107	655,008	95%	
		MY船橋ビル	313,910	291,865	108%	
		幕張テクノガーデン		55,420		
都市ガス	m ³	MY船橋ビル	28,917	26,492	109%	
参考CO ₂ 排出量			746,994	776,226	96%	
倉庫内水使用 (MTGの水使用はなし)	m ³	浜町倉庫	783	902	87%	浜町倉庫の水使用量が安定しない。 イベント等でタンクに水をためて使用している様子ある。
		高瀬町倉庫	501	453	111%	
		MY船橋ビル	2,835	2,843	100%	

※ 電力換算調整後排出係数 2022年7月14日 公表

東京電力 0.433 K D D I 0.417 kg-CO₂/kWh 都市ガス 2.16 kg-CO₂/m³

2.2 SC 事業所の環境活動

(1)対象 SC 事業所等：ららぽーと TOKYO-BAY、イオン八千代緑が丘、津田沼 Viit、三菱電機ライフサービス、エポカ高根台（フルルガーデン閉鎖）

(2)活動期間： 2022 年 10 月～2023 年 9 月

(3)活動方法： 対象 SC(Shopping Center)では、SC 内の 1 室を間借し、SC 内で排出されるゴミの管理、廃棄物の回収分別作業を行っている。電気、水等は SC よりの支給のため使用量の把握が困難である。このため、当社独自のチェックシートによる活動と評価を行い、環境活動を推進している。

評価項目	ららぽーと TOKYO-BAY	イオン 八千代緑が丘	Viit	エポカ高根台	三菱電機 ライフサービス(株)内
常駐作業人数	3.5人	1人	1人	1人	2.5人
電力使用量削減	54 / 54 = 100%	30 / 30 = 100%	24 / 24 = 100%	24 / 24 = 100%	42 / 42 = 100%
自動車燃料削減	24 / 24 = 100%	4 / 4 = 100%	4 / 4 = 100%	4 / 4 = 100%	15 / 18 = 83%
節水活動	27 / 30 = 90%	21 / 24 = 88%	24 / 24 = 100%	24 / 24 = 100%	27 / 30 = 90%
廃棄物削減	60 / 66 = 91%	48 / 48 = 100%	29 / 32 = 91%	26 / 26 = 100%	32 / 34 = 94%
グリーン購入	16 / 16 = 100%	16 / 16 = 100%	12 / 12 = 100%	10 / 12 = 83%	14 / 14 = 100%
環境配慮活動	/ = -	/ = -	/ = -	/ = -	6 / 6 = 100%
合計	181 / 190 = 95%	119 / 122 = 98%	93 / 96 = 97%	88 / 90 = 98%	136 / 144 = 94%

ららぽーと 北館改修工事に伴い 換算値 5.0人から3.5人となっております。
三菱電機ライフサービス内、敷地面積減少に伴い換算値 3.5人から2.5人となっております。

2.3 土木工事現場の取り組み

(1) 当社の土木工事現場の特徴

工事件数	短期間物件が主体で年間 約 100 件 (元請け 100%)
主な現場	① 官庁関係からの受注で、排水関係・道路関係・汚泥回収等 期間 1 ヶ月以内のものが主である。 ② 今年度は、工事事務所設置の実績はない。 ③ 工事の組織は、受注案件毎に土木部が個別対応し特に現場組織 の編成はしていない。
現場の業務内容	① 下水・排水管の調査・清掃・補修。 ② 汚水・排水槽清掃。貯水槽清掃。 ③ グリーストラップ清掃。 ④ 施設等管理清掃作業。 ⑤ 道路維持管理・道路舗装修繕。

(2) 土木工事現場の環境経営目標

当社は、建設現場毎の負荷調査は困難で 1 年間の全工事・作業を集約した中期環境経営目標を設定する。作業内容が多岐にわたり、使用の車両、機器、重機が異なり現場により環境負荷に違いがでる。目標値の設定は、2018 年度の実績をもとに、目標値を設定した。

<環境経営目標 2022 年度～2024 年度>

取組区分	単位	基準年	環境目標 (年度は10月～9月)		
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
軽油使用量削減 2.58 燃費 2021年度計測	L/年 k m/L (参考値)	20,939	効率使用を監視する		
		5.23	21,000	21,000	21,000
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂ /年	54,023	排出量の監視		
			54,180	54,180	54,180
建設廃棄物のリサイクル推進 (アスコンがら)	%		マニフェスト伝票による監視		
			100%	100%	100%
建設資材グリーン購入	再生品アスファルト使用	%	100%	100%	100%
	再生品砕石使用		100%	100%	100%

※グリーン購入のアスファルト・砕石については 100%を維持する為管理を行う。(但し、工事の仕様によるバージン使用は除く)

<環境経営目標の設定考え方>

- ① 現場での電力・水の使用が必要で顧客より支給された際の量は不明である。洗浄車の給水については、事務所の水道、事務作業は本社で行うため。本社事務所での集計となる。
- ② ガソリン及び事業所排出廃棄物については、本社での集計とする。
- ③ 工事現場から発生する産業廃棄物はマニフェスト伝票を発行し再生砕石リサイクル業者へ処理委託し 100%リサイクルとなっており、これを継続する。
- ④ グリーン購入に関しては、再生品アスファルト・再生品砕石の使用状況を監視する。2018 年度実績は 100%再生品割合となった為 次年度からは引き続き監視項目とし 100%を目標とし現状維持に努める。(但し、工事の仕様によるバージン使用は除く)
- ⑤ 再生品砕石については、m³/t 係数 1.57 で計算する。
- ⑥ 2022 年度～2024 年度についても、これまで同様に活動する。

(3) 今年度の環境活動計画及び次年度の計画

環境目標	環境活動計画の内容	主担当
燃料（軽油、ガソリン）使用量の削減	◎エコドライブの実践 ・無用なアイドリング、空ふかしをやめる ・経済速度で走る。無駄な荷物は積まない ・点検・整備をきちんとし、タイヤの空気圧を適正に保つ ・急発進、急加速、急ブレーキをやめ、適切な車間距離 ・あおいくま運動の推進・適切な車輛整備の実施 ・建設機器の作業停止時のエンジストップ ・土木工事に係る環境負荷軽減に努める	現場責任者
建設廃棄物リサイクル推進	・廃棄物アスコンがらのリサイクルを提案・搬入を行う ・マニフェスト伝票による管理を行う	現場責任者
グリーン購入	・再生品使用の提案 ・工事仕様書に従い再生品の部材購入を行う。 ・部材（再生品アスファルト、再生品砕石）の購入量、再生品の管理・監視	現場責任者

(4) 土木現場の環境活動取組結果（2022年10月～2023年9月）

項目	単位	品目	目標値	実績値	達成率	コメント
CO2削減	L	軽油	21,000	18,505	113%	工事案件は少なく使用量は目標値クリアとなるが燃費が良くない。猛暑等によるものと推測される。
	km/l	燃費（参考値）	5.30	3.54	67%	
排出量	kg		54,180	47,743	113%	
項目	単位	品目	評価方法		割合	コメント
建設廃棄物のリサイクル推進	%	アスコンがら	マニフェスト伝票による適正処理確認		100%	適正処理を確認した。
項目	単位	品目	使用量	リサイクル品使用量	割合	コメント
グリーン購入	%	再生品砕石使用量（t）	1,116.9	1,050.4	94%	内訳の砕石66.4tパーセントは工事仕様による
		再生品アスファルト使用量（t）	1,011.2	1,011.2	100%	
※ 軽油CO2換算値 2.58 (kgCO2/l) ※ 砕石のt換算係数 1.57 (m ³ /t) で計算する。						

(5) 土木現場の環境への取組状況

請負金額が 1000 万円以上の工事を対象に、当社独自の環境配慮チェックリストで、工事現場の環境への取組活動を評価した。

① 評価対象工事件名 (金額：A：2000 万円以上 B：1500 万以上 C：1000 万以上)

No	工事現場	作業内容	金額	期間	備考
1	市道 58-104 号線ほか 2 路線舗装修繕	舗装工事	B	4 ヶ月	元請け
2	豊砂地区下水道修繕工事	下水道関係	A	10 ヶ月	元請け
3	駒込川排水区長寿命化対策工事	舗装工事	A	6 ヶ月	元請け
4	芝山地区路面復旧工事	舗装工事	A	4 ヶ月	元請け
5	県単舗装道路修繕工事	舗装工事	B	3 ヶ月	元請け
6	城門地区管渠布設工事	下水道関係	A	7 ヶ月	元請け
7	市道 69-019 号線ほか路線道路工事	舗装工事	A	5 ヶ月	元請け

② 評価一覧

No	燃料の削減	水の使用	現場の環境配慮	グリーン調達
1	33 / 35 = 94%	19 / 20 = 95%	77 / 85 = 91%	9 / 10 = 90%
2	31 / 35 = 89%	20 / 20 = 100%	82 / 85 = 96%	7 / 10 = 70%
3	30 / 35 = 86%	20 / 20 = 100%	62 / 85 = 73%	7 / 10 = 70%
4	31 / 35 = 89%	20 / 20 = 100%	82 / 85 = 96%	6 / 10 = 60%
5	31 / 35 = 89%	- / - =	62 / 85 = 73%	- / - =
6	26 / 35 = 74%	16 / 20 = 80%	69 / 85 = 81%	7 / 10 = 70%
7	33 / 35 = 94%	19 / 20 = 95%	79 / 85 = 93%	8 / 10 = 80%
合計	215 / 245 = 88%	114 / 120 = 95%	513 / 595 = 86%	44 / 60 = 73%
コメント	No. 1 住宅街の工事 低騒音重機使用し振動に細心の注意を払った。 No. 2 商業施設の近くで夜間工事。ソーラーシステム照明を使用した。 No. 4 通行止め・夜間・駐車場封鎖など近隣への周知が多い現場であった。 No. 5 住宅街の夜間工事の為、低騒音型重機で騒音対策に努めた。 No. 7 住宅街の工事で、住人の出入り口を確保するため週1回周知文を作成した。			

2.4 倉庫部門の取組

(1) 貸倉庫業の現状

浜町倉庫(5,200 m²)は、2020年9月よりL社からS社に変更となり一括貸し、S社がさらに又貸している。高瀬町倉庫(2,299 m²)は、当社が各階ごとに各企業に賃貸し、倉庫荷物の保管・搬入搬出業務は当社では一切行っていない。MY船橋ビル(1,400 m³)は、事務所の賃貸ビルで各テナント様の管理は管理会社が行っている。また、エネルギー(電気使用等)、水道等は借り手が使用量管理及び使用料支払いである。

(2) 省エネ法における貸倉庫業のエネルギー管理の考え方

省エネ法の基本的な考え方は、「経産省資源エネルギー庁省エネルギー部省エネ対策課」への確認により以下のことが分かった。

「設備の更新権原を有する者」が、エネルギー管理権原(責任)を有する。

具体的には

- ① オーナーが建物、空調、照明等の設備更新権原を有していたら、それら設備の使用に関わるエネルギー使用の管理責任は、オーナーとなる。
- ② テナントが自己で設置した設備、例えばパソコン、コピー機等に関わるエネルギー管理責任はテナントにある。

(3) 貸倉庫における省エネ法の適用可否

- ① 浜町倉庫：S社に一括貸し、S社がさらにまた貸ししていても、建物、空調、設備等の更新権原を当社が有する限り、エネルギー管理権原は当社にある。S社は倉庫の管理会社であり、オーナーではないと考えられる。
- ② 高瀬町倉庫：賃貸倉庫であり、建物、空調、設備等の更新権原を当社が有するので、エネルギー管理権原は当社にある。
- ③ MY船橋ビル：賃貸事務所であり、建物、空調、設備等の更新権原を当社が有するので、エネルギー管理権原は当社にある。
- ④ 幕張テクノガーデン：賃貸事務所であるが、建物、空調の更新権限はないが、電灯設備の更新権限は当社が有する。エネルギー管理権限は管理会社で行っている。
- ⑤ 省エネ法の趣旨より3物件は、当社がエネルギー管理を行う必要がある。
幕張テクノガーデンについては電力使用量の把握はできるので監視のみを行う。

(4) 貸倉庫のエネルギー管理の方法

- ① 貸倉庫の契約条件及びエネルギー使用の実態より、当社が直ちに使用量管理を実施することは困難である。よって、倉庫のエネルギー使用量はテナントの自主管理とし、今後はテナントへ EA21 活動への理解を深める活動を通じて、徐々にエネルギー管理への関与を強めて行くことにする。
- ② 当社はオーナーとして、各テナントにチラシを配布し、節電、節水への協力を呼びかけた(下記「エコアクション21 環境へのご協力のお願い」参照)。今後も定期的に継続して呼びかける。

エコアクション21 環境活動へのご協力のお願い

拝啓

貴社ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社 船橋興産(株)は「人と環境の調和をはかる」のスローガンのもとエコアクション21の活動でCO2排出量削減に取り組んでおります。

今回、年間の浜町倉庫 電気使用量・水道使用量の一覧を作成させていただきました。参考にさせていただき節電及び節水に、何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。

(5) 貸倉庫におけるエネルギー使用量について

倉庫における環境負荷

電気 (kWh) 水・ガス (m³)

倉庫	使用量	基準値	2022年度	対比	理由(コメント)
浜町倉庫 (一括貸)	電気	679,479	693,211	98%	倉庫内の温度管理による。猛暑で 使用量が増加している。
	水	783	902	87%	
高瀬町倉庫 (賃貸倉庫)	電気	622,107	655,008	95%	電気の使用量が増加 猛暑になると 冷蔵設備による使用量が増加する。
	水	501	453	111%	
MY船橋ビル (賃貸ビル)	電気	313,910	291,865	108%	来年度にLED化の予定ありさらなる 使用量が減る予定。
	水	2,835	2,843	100%	
	ガス	28,917	26,492	109%	
幕張テクノ ガーデン (賃貸事務所)	電気	0	55,420		2023年4月より 二酸化炭素排出 係数0プランに変更

2.5 当社のCO₂ガス排出量のまとめ (2022年度)

部門	対象部門	目標値	実績値	達成率	コメント
一般事業所	本社他	804,226	764,107	105%	中間処理場を含む
建設現場	工事現場	54,180	47,743	113%	現場使用軽油のみ
CO₂ガス排出量小計		858,406	811,850	106%	注
部門	対象部門	基準値	実績値	達成率	コメント
貸倉庫	浜町・高瀬町倉庫・MY船橋ビル・幕張テクノガーデン	746,994	776,226	96%	4施設合計電力
貸倉庫	MY船橋ビル	62,461	57,223	109%	都市ガス
CO₂ガス総排出量小計		809,455	833,449	97%	
CO₂ガス総排出量合計		1,667,861	1,645,299	101%	
一般事業所	本社他	目標値外	254.6		LPG・都市ガス
CO₂ガス排出量総合計			1,645,553		

注：S C事業所は使用電力の把握ができない為含まない。

※ 電力換算調整後排出係数 2022年7月14日 公表

東京電力 0.433 KDDI 0.417 kg-CO₂/kWh 都市ガス 2.16kg-CO₂/m³

2023年10・11月より KDDI電気(本社、高瀬町倉庫、MY船橋ビル)クリーンエネルギーとなる。

3. 代表者による全体の評価と見直し (2023年10月28日実施)

3.1 総括

2020年にはじまった新型コロナウイルスによる混乱も、今年5月に5類へと変更されたことで、ようやく落ち着きを取り戻してきました。3年以上にわたり社内のコミュニケーションが阻害され、社内の情報共有・意思疎通にも大きな影響がでています。引き続き一定レベルの警戒が必要だとは思いますが、しっかりコミュニケーションをとり、業務の改善に努めていってください。情報共有の不足による二度手間・三度手間を削減することで業務効率が上がり、環境負荷を減らしていくことができます。

さて、今年度の環境活動取組結果ですが、①土木課の燃費②中間処理場の水道使用量③産業廃棄物処理量の拡大、の3点を除けば、概ね良好な結果といえると思います。

土木課の燃費については、工事現場の所在地や工事の内容によって燃費は大きな影響を受けるため、なかなか評価が難しいところです。「できる取組は確実に実施していく」ことで改善につなげていきたいと思っています。

中間処理場の水道使用量については原因がつかめていないので、しっかり監視していく必要があります。業務上、水の使用量が増えることに正当な理由があれば、目標を見直すことも必要になってきます。以前より増えた業務は無いか、あるいは、日々の業務の中に無駄な水の使用は無いか、まずは原因をつかんで、適切な対応をしていきましょう。

産業廃棄物処理量の拡大については、大口案件の解約が相次いだことによるものです。当社の営業成績にも直結する問題であり、営業の皆さんを中心に目標達成に向けた取組をお願いしたいところではありますが、状況によっては目標の見直しも必要になってくると思います。

この他、わずかに目標に届かなかった項目については、現在の取組の他に何かできることは無いか、皆で知恵を出し合って、来年は目標達成できるように頑張っていきたいと思います。

目標を達成できた項目も油断することなく、引き続き環境負荷削減の取組をお願いいたします。

3.2 見直し結果

- ① 環境方針： 変更の必要性なし
- ② 環境経営システム（マニュアル・規定）： 変更の必要性なし
- ③ 環境目標（中期計画）・活動計画（年度計画）

4. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

- 2023年9月に環境関係法令等の遵守状況を確認した結果、環境関係法令等への違反はありませんでした。
- 周辺住民からの苦情・訴訟は過去3年間ありません。
- 当社に適用される主な環境関連法規は下記のとおりです。
廃棄物処理法、浄化槽法、消防法、下水道法、自動車NO_x・PM法、道路運送車両法、
道路交通法、騒音規制法、振動規制法、自動車リサイクル法、家電リサイクル法、
小型家電リサイクル法、フロン排出抑制法